

# 令和5年（2023年）度行政評価シート

令和5年8月10日

評価者	市民防災部長 永野 英樹
-----	--------------

## ○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	6-(3) 勤労者福祉	施策の方針	6-(3)-①労働環境の充実
目標とするまちの姿	就労支援の充実を通じ、市民のライフステージや希望に合った多様な働き方ができるようになるとともに、勤労者に対する福利厚生をはじめとする労働環境の整備も進んでいます。また、専門的な技能をもった技能者の育成・確保が図られています。			
主な取組	<p>(1) 就労支援の充実 高齢者や子育て・介護等で離職した方、障害者、ひきこもり状態にある方など、多様な世代や背景、課題を持った方々をはじめ、就職を目指す市民のライフステージやニーズに合った就労情報の提供や、相談・支援の充実、就労支援施策を推進します。</p> <p>(2) 労働環境の充実 雇用や労働環境に不安や不満を持つ勤労者に各種相談事業を実施するとともに、中小企業勤労者の福利厚生を総合的に行う湘南勤労者福祉サービスセンターを支援します。</p> <p>(3) 技能の奨励・啓発と継承 技能者の育成や後継者の確保に向けて、技能者への表彰や体験活動等による啓発活動を通じて、多様な技能への関心を高めることに努めます。</p>			

### 1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

#### 市民防災部

女性・高齢者・就職氷河期世代などの個別支援が必要な世代への就労支援を拡充させていくとともに、市全体の就労支援施策の充実や勤労者の福利厚生充実のための施策を継続支援していくことにより、市民のライフステージや希望に合った多様な働き方ができるようにする。また、技能職者の社会的地位向上や後進の育成に対する支援等も継続して実施していくことにより、専門的な技能を持った技能者の育成・確保を図る。

### 2. 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	51,683	54,018	53,846			
人件費	26,298	26,878	26,907			
総事業費	77,981	80,896	80,753	0	0	0

### 3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	市民-26	労働環境対策事業		3,640	16,122	19,762	拡充	A	拡充
	市民-27	勤労者福利厚生事業		31,094	2,799	33,893	現状維持	A	現状維持
	市民-28	勤労者福祉支援事業		18,644	1,649	20,293	現状維持	A	現状維持
	市民-29	技能振興事業		468	6,337	6,805	現状維持	A	現状維持

#### 4. 評価対象年度の主な実施内容

##### 市民防災部

子育てや介護をしながら働かねばならない女性や高齢者、就労困難若年者の支援事業を開催した。また、世代等に関わらず就労支援ができるよう就職支援相談や合同就職説明会を実施するとともに、勤労者の福利厚生につながる事業や技能職者の支援につながる事業も実施した。

##### ※実施できなかった事業とその理由

なし

#### 5. 成果指標

成果指標①		希望する職場で就労できていると感じる市民の割合 (鎌倉市SDGs未来都市計画 指標)						出典	市民アンケート調査	
令和2年1月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考	
初期値	47.2	目標値	47.1	47.2	48.0	49.0	50.0	51.0	%	
		実績値	未実施	44.4	44.3					
		達成率	—	94.1%	92.3%					

成果指標②		仕事と生活のバランスがとれていると感じている市民の割合 (鎌倉市SDGs未来都市計画 指標)						出典	市民アンケート調査	
令和2年1月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考	
初期値	52.5	目標値	52.4	52.5	53.0	54.0	55.0	56.0	%	
		実績値	未実施	55.2	55.4					
		達成率	—	105.1%	104.5%					

成果指標③		市内の事業所における障害者就労者数						出典	所管課調べ	
令和元年9月	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	単位	備考	
初期値	625	目標値	674	765	865	865	865	865	人	
		実績値	669	883	791					
		達成率	99.3%	115.4%	91.4%					

## 6. 「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

### 市民防災部

成果指標に取り上げた市民アンケート調査において、希望する職場で就労できている、仕事と生活のバランスが取れていると感じている人の割合は目標を概ね達成しているが、調査において前年度と同程度の割合であることから、引き続き割合を高めることができるよう努める。

従来から実施してきた女性や就労困難若年者に対する就職支援については、参加者数の確保が引き続き課題となっているため、周知や実施の方法を検討していく。

また、参加者に対しては、事業終了後も情報提供や就職相談などのフォローアップをすることにより支援の強化に取り組み、達成率を上げるよう努める。

## 7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

### 市民防災部

労働環境対策事業では女性や高齢者、就労困難若年者の支援事業を実施するとともに、世代等に関わらず就労支援ができるよう就職支援相談や合同就職説明会を実施することにより、誰もがライフステージや希望に合った働き方ができる「働くまち鎌倉」の実現に寄与することができた。

勤労者福利厚生事業では、勤労者の福利厚生につながる事業への支援により、勤労者が安心して働くことができる環境整備に貢献することができた。

技能振興事業では、技能職者の活動を支援することにより、後継者育成や技能の周知に寄与することができた。

## 8. 今後の方向性

### 市民防災部

厚生労働省の受託事業である生涯現役促進地域連携事業(高齢者雇用促進事業)の終了に伴い、令和5年度以降は高齢者・女性・就職氷河期など多様な世代の就労支援を市単独で実施していく。これに伴い、就職支援相談を拡充することで相談者や事業参加者へのフォローアップをし、ライフステージや希望に合った働き方ができるよう努める。

また、AIを活用した就労支援システムを導入することで、働き方に制約のある高齢者や女性などの技能や経験を活かすことができるような就労支援を実施していく。

さらに、技能職者の社会的地位向上や後進の育成に対する支援も継続し、専門的な技能を持った技能職者の育成・確保を図る。

## 9. 今年度(評価年度)の目標

### 市民防災部

相談体制の充実と就労支援事業の連携、就労支援支援システムの活用により、女性・高齢者・就職氷河期世代など様々な世代の就労支援を推進し、ライフステージや希望に合った働き方ができる「働くまち鎌倉」の実現につながるよう努める。

また、技能職者の社会的地位向上や後進の育成に対する支援も継続し、専門的な技能を持った技能者の育成・確保を図る。